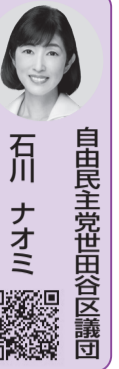




# 代 表 質 問

2月20日及び21日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



自由民主党世田谷区議団  
石川 ナオミ

## 実効性の高い災害対策の推進

**質問** 能登半島地震を踏まえ災害対策を一層強化すべきだ。地域防災計画や復興マニュアルの更新を速やかに進めるとともに、全地区で区民と協働した訓練を実施せよ。

## 危機管理部長

計画の修正や協働型の訓練を通じ防災力を強化する。

## 本庁舎整備遅延への区長の姿勢

**質問** 本庁舎整備の遅延により、区民生活には多大な損失が生じている。損害賠償については92万区民の代表として強い覚悟を持ち区長自らが大成建設社長と交渉せよ。

## 区長

適正な工事の推進や誠意ある対応を引き続き強く求めていく。

## 包括管理業務委託の制度設計

**質問** 区は施設の管理や修繕を一括で委託する包括管理業務委託を導入予定だが、中小事業者の参画機会を狭める懸念がある。事業者の活性化に資する視点で取り組む。

## 副区長

区内事業者の健全育成の視点を基本に仕組みを検討する。

## スポーツに親しめる場の整備

**質問** スポーツの実施率が伸び悩む要因として区民が運動に親しむ場の不足が挙げられる。拠点的なスポーツ施設と共に身近な地域で運動できる場を着実に整備せよ。

## スポーツ推進部長

公園を活用した身近な運動の場の整備などに努める。

## せたがやペイの一層の活用策

**質問** せたがやペイは消費喚起や物価高騰対策に成果を挙げた。恒常的なポイント還元や商店街の取組を後押しする機能の追加など、今後の更なる事業拡充に力を注ぐ。

## 経済産業部長

新たな分野で展開を図り、更なる浸透を目指す。

## 中小事業者への経営支援

**質問** 区内産業や地域を支えている中小事業者が長引く物価高騰の影響を受け、経営に苦慮している。区は事業者の声を十分に受け止め、必要な施策を迅速果敢に講じよ。

## 経済産業部長

支援体制を強化し、適時適切な施策展開に取り組む。

## 世田谷一家殺人事件解決への取組

**質問** 海外ではDNA遺伝情報を犯罪事件の解決に役立てている。世田谷一家殺人事件の解決と新たな犯罪被害者を生まないためにも遺伝情報に関する議論を喚起せよ。

## 区長

事件の早期解決に向けて、あらゆる努力を惜しまない。

## 都市農業のさらなる推進

**質問** 化学農薬などの使用を抑えた工コ農産物は、生産コストや手間がかかるが環境負荷の低減などが見込める。工コ農業推進の一助として助成制度の拡充に力を注ぐ。

## 経済産業部長

関係団体と連携し、環境に配慮する農家を支援する。

## 区内医療体制の強化

**質問** 区民の健康を守るため、予防型の医療政策を推進すべきだ。がん検診の受診率向上や健康せたがやプランの実効性を高めるため、医師会など一層の連携を図れ。

## 保健所副所長

日頃から意思疎通を大切に、連携体制を強化する。

## 介護人材確保策の拡充

**質問** 区は介護人材の確保を目的に宿舎借り上げ支援事業を実施しているが、利用実績は低調だ。人材確保に寄与するよう要因を十分分析し事業スキームを再構築せよ。

## 高齢福祉部長

多くの事業者が活用しやすくなるよう改善を図る。

## 医療的ケア児の保護者負担の軽減

**質問** 人工呼吸器を使用する医療的ケア児が保護者の付添いなく学校に通えるよう、区は看護師を活用する対応策を示した。円滑な実施に向けて学校現場を支援せよ。

## 教育総務センター長

ガイドラインを周知徹底し実施体制の確立に努める。

## 道路整備事業の迅速な推進

**質問** 道路の整備は災害などから区民の生命と財産を守ることに直結する。強靱な世田谷を築くため、区長は遅々として進まない整備状況を猛省しスピードアップを図れ。

## 副区長

優先整備路線の事業着手に向けスピード感を持ち取り組む。

## 公明党世田谷区議団



福田 たえ美

## 避難所への水循環器の配備

**質問** 避難所で感染症を予防するには良好な衛生環境を保つことが重要だ。生活用水が不足する中でも手洗いなどができるように、水を再生利用する水循環器を配備せよ。

## 危機管理部長

収納場所が課題であり学校改修などを機に検討する。

## 災害時協力協定の実効性の向上

**質問** 災害に備えて民間団体などと結ぶ災害時協力協定の実効性を高めるべきだ。協定内容を総点検するとともに、災害からの早期復旧に向けた連携訓練を実施せよ。

## 区長

協定内容を再確認するとともに訓練実施に向け協力を求める。

## 効果的な介護予防施策の推進

**質問** 高齢者の外出を促すポイントラリー事業は介護予防の見える化を図れるよう見直すべきだ。自発的な健康増進であるセルフマネジメントを高める取組に転換せよ。

## 副区長

ポイントラリー事業を進める中で付与方法などを改善する。

## シニア世代への就労支援の強化

**質問** 働きたいシニア世代の増加を踏まえ、就労支援を強化すべきだ。シルバー人材センターと三茶おしごとカフェを統合するなど、資金や人材を集中し取組を進めよ。

## 経済産業部長

高齢者が希望に合った働き方ができるように取り組む。

## 区独自の教員任用制度の導入

**質問** 区立校の教員不足が深刻であり、担任が配置できない学級まである。現状を打開するため、区独自の任用制度の導入に踏み切れ。

## 教育長

6年度から区独自の正規教員の任用制度を検討する予定だ。

## 若者世代への婚活支援の充実

**質問** 区が実施した婚活イベントは満足度が8割に上り、大変好評だ。ニーズの高さを踏まえ、今後はICTによるマッチングなどの本格的な婚活支援に取り組む。

## 子ども・若者部長

関係機関と連携し、工夫を凝らした取組を進める。

## 中高生の学習スペースの拡充

**質問** アンケート調査などで中高生から要望の多い、学習できる場所の拡充に取り組むべきだ。図書館を利用時間外に夜間開放するなど身近な公共施設を有効活用せよ。

## 子ども・若者部長

公共施設の有効活用を含めスピード確保を検討する。

## 学校体育館の冷房設備の改善

**質問** 猛暑日の増加に伴う学校での暑さ対策は急務だが、体育館に設置された冷房は効きが悪く効果が薄い。児童生徒の安全を守るため、夏までに確実に改善せよ。

## 警察・生活審判 送風機の設置などを進め、抜本的な対策も検討する。

## 保育園での2歳児の預かり枠拡充

**質問** 2024年4月の入園選考では2歳児の入園希望に対して受入れ可能な園が不足している。保育定員を柔軟に変更するなど、認可外保育施設も含めた対策を講じよ。

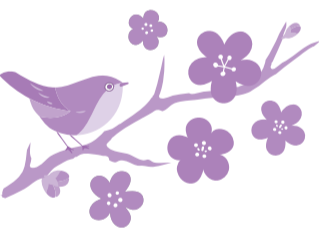
## 副区長

欠員の多いゼロ歳児の定員の振替などを検討する。

本文中では左記の省略表記(※)を使用しています。

※あんすこーあんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)

※せたがやホット子どもサポート



## 立憲妻れいわ新進世田谷議団



中山 みずほ

## 6年度予算編成への区長の決意

**質問** 予測不能な時代を見越した施策が求められる中、区は新たな行政経営への移行実現を図るために7億000万円の投資的予算案を計上した。区長の意気込みを示せ。

## 区長

不測の事態に備え、組織の変容に力点を置いて改革を進める。

## 女性管理職を増やすための取組

**質問** 区の女性管理職割合はここ10年間で20%台と低調だ。昇任時の男女差などをデータ分析するため専門家を交えて調査を実施せよ。

## 副区長

外部の専門的な助言を受けることも視野に検討していく。

## 介護人材不足に対する区の対応

**質問** 国が示した訪問介護事業の基本報酬引下げは、人手不足を加速させ家族介護の負担増大につながる。この事態を踏まえ、介護人材の確保をどう進めていくのか。

## 高齢福祉部長

宿舎借り上げ支援事業の補助対象を拡大し支援する。

## 男女共同参画の更なる推進

**質問** 男女間賃金格差など社会構造が女性の貧困を招いている。4月の困難女性支援法の施行を踏まえ、区の女性支援への姿勢を小さく。生活文化政策部長 女性向けの様々な事業を通じて更なる支援に力を注ぐ。

## 在宅避難を踏まえた災害対策を

**質問** 能登半島地震を受け、避難生活を支えるための対策の強化が必要だ。支援物資の供給体制を整備するとともに、在宅避難への備えが進むよう区民周知に注力せよ。

## 危機管理部長

防災カテゴリーグフの配付事業などで啓発を進める。

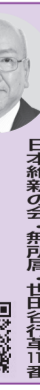
## 主体的な学びを促す授業改革

**質問** 渋谷区では子どもの主体的な学びの実現に向け、全小中学校で午後の時間を探求学習に充てるなど、授業の見直しが進んでいる。区も積極的に授業改革に取り組め。

## 教育長

学びの質の転換に向け、新しい授業観の習得を教員に促す。

## 日本維新の会・無所属 世田谷区議団



大庭 正明

## 保育事故の再発防止策

**質問** 区内の認可外保育園で起きた乳児の死亡事故の再発防止には、密室性の高い保育環境の解消が重要だ。認可園も含め全園対象に力××などの見守り機能を導入せよ。

## 副区長

導入への補助制度を認可、認可外を問わず周知し設置を促す。

## 惠泉通り開通に向けた区長の決意

**質問** 惠泉通りの整備実現は区長が6年度予算案で掲げた地区防災力向上を体現する極めて重要な取組だ。土地占有者に対し区長自ら明渡しを訴えるなど行動を起こせ。

## 区長

対話を続け行政代執行の可能性も整理し土地明渡しに努める。

## 新庁舎整備に伴う遅延違約金

**質問** 本庁舎整備の工期延伸という重大な契約違反に対し大成建設は区に遅延違約金を支払うことになる。違約金はいくらになるのか。

## 庁舎整備担当部長

現段階での契約金額から算出すると約12億円となる。

## 新庁舎整備に伴う和解の内容

**質問** 違約金に関する合意書の締結に先立ち、大成建設と和解する議案が今議会に提案される。和解と言いが双方で何を譲歩したのか。

## 庁舎整備担当部長

損害賠償の解釈などを整理し和解内容をまとめた。

## 新庁舎整備に伴う損害賠償の行方

**質問** 整備延伸に伴う違約金とは別に、区が被った損害への賠償として約10億円は大成建設から受け取れるとの見通しを特別委員会で副区長が示した。その根拠を示せ。

## 副区長

締結予定の合意書には損害賠償の取扱いが定められている。

## 違約金や損害賠償の取り決め

**質問** 違約金などに係る和解が一度成立すれば、後で内容の変更を主張することは困難だ。違約金と損害賠償は別物として合意したことが反故にされないよう明記せよ。

## 庁舎整備担当部長

大成建設と取り交わす合意書に明記されている。

# 代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様を  
ホームページで録画配信しています。  
世田谷区議会 議会中継 で検索！



日本共産党世田谷区議団  
川上 こういち

## 住宅の耐震化の促進

**質問** 能登半島地震では、家屋の倒壊で多くの人命が失われる事態となった。首都直下地震から家屋の倒壊を防ぎ区民の命や財産を守るため住宅の耐震化を一層進め、**防犯の指針** 耐震改修促進計画改定を機に更なる耐震化を進める。平和に関する対話の重要性

**質問** 平和の実現には対話の積み重ねが大切だ。区長は国内外の自治体間で平和に関する対話が広がるよう、積極的に行動せよ。  
**区長** 区の平和に向けた取組などを積極的に国内外へ発信していく。

## 健全な民主政治に向けた改善

**質問** 自民党派閥の政治資金問題に見る企業や団体の献金は財力で政治を動かすとする行為であり、我が党は禁止を求めている。民主政治に反する献金への見解を示せ。  
**区長** 政治資金規正法の抜本的な見直しなどが必要だと考えている。  
**安直な民間委託への懸念**

**質問** 区はコスト削減の一環として業務の外部委託を進める方針だが、官製ワーキングプアの助長や偽装請負の発生が危惧される。弊害についての認識を示せ。  
**副区長** 偽装請負の防止や適正な労働条件の確保などに取り組む。等々力溪谷の保全

**質問** 等々力溪谷が倒木により広範囲で利用できない状態だ。溪谷が多くの方々に親しまれている点に鑑み、ふるさと納税を活用して危険樹木処理費用への寄附を募れ。**みどり推進部長** ふるさと納税により寄附を募ることを検討する。

**区独自の国保料負担軽減策**  
**質問** 区民生活を守るため国保料軽減が急務だ。子どもを対象とした均等割保険料の減免対象拡大や低所得者への軽減措置に取り組み。**保健福祉政策部長** 区民の負担が急増しないよう運営に努める。

## 一般質問

2月21日及び22日の本会議では、31名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



阿久津 皇 (自民)

## 地域防災の担い手の確保

**質問** 首都直下地震に備え地域防災力の向上が急務だ。防災訓練参加者へのせたがやベイを活用したインセンティブ付与など様々な手法で地域防災の担い手を確保せよ。  
**答弁** 提案の手法も含め防災への関心を高める方策などを検討する。**消防団員確保に向けた支援の強化**

## 持続可能な行政運営に向けた方策

**質問** 区財政が厳しい中、民間に委託することでコスト削減とサービス向上が図れる事業を積極的に発掘すべきだ。他自治体で進む窓口業務の民間委託を区も検討せよ。  
**答弁** マインナーカードに係る業務での民間委託を準備している。



河村 みどり (公明)

## 避難行動要支援者の支援体制強化

**質問** 我が会派は避難行動要支援者が福祉避難所へ直接避難できる環境整備を求めてきた。耐震性の高い公共施設を福祉避難所に加え、など安全な直接避難を支援せよ。  
**答弁** 能登半島地震の課題を踏まえ福祉避難所の確保に努める。

## 女性の健康に係る相談窓口の設置

**質問** 国は女性が健康で活躍できる社会の創出に向け、成育医療センターに女性の疾病に特化した研究機関を開設する。区もこれを機



真鍋 よしゆき (自民)

## 京王線の踏切解消への道筋

**質問** 京王線立事業は区民周知が不十分であり、踏切はなくなるとの噂まである。誤解を解き事業への協力を得るため、案内板を設置し踏切解消への道筋を示せ。  
**答弁** 駅近くの工事用仮囲いへの事業概要の掲示などPRに努める。

## 道路整備事業の区民周知の強化

**質問** 都市計画道路や主要生活道路などの整備は区民の生活に大きく影響するため、丁寧に情報提供すべきだ。工事の進捗状況や供用開始目標を道路予定地に掲示せよ。  
**答弁** 道路予定地を活用し、事業計画などを分かりやすく周知する。

## さかさま不動産的発想の空家対策

**質問** 空き家解消には、所有者と活用希望者をつなぐことが重要だ。希望者が活用目的を示し、その思いに共感した所有者とのマッチングを支援する仕組みを構築せよ。  
**答弁** 活用希望者の提案を可視化するなど取組を加速していく。



青空 こうじ (無所属)

## 屋根の点検商法への対処

**質問** 悪徳業者が屋根の無料点検を口実に高齢者宅などを訪問し、言葉巧みに高額な工事契約を迫る点検商法が多発している。実際に訪問してきた際の対処法を示せ。  
**答弁** 安易に屋根に登らせず、すぐに契約しないことなどが肝心だ。訪問買取りを利用する際の注意点

**質問** 不用品の買取りで自宅に訪れた業者に、売るつもりのない貴金属などを強引に買い取られる事例を聞く。被害に遭わないためにはどのような点に注意すべきか。  
**答弁** 貴金属を安易に見せず、きっぱり断ることなどが挙げられる。

## 高齢者の消費者被害対策の強化

**質問** 手口が巧妙かつ多様化する悪質商法から区民を守る取組が必要だ。狙われやすい高齢者への被害防止策の強化とともに被害に遭われた方に寄り添った支援を行え。  
**答弁** 様々な媒体を活用した啓発や区民に寄り添った相談に努める。



坂本 みこ (共産)

## からだの権利教育の推進

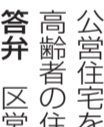
**質問** 痴漢被害の防止には子どもが自身の身体について自分で判断し守る力を育むことが重要だ。幼少期からの包括的性教育、「からだの権利教育」を一層推進せよ。  
**答弁** 幼少期からの年齢に合わせた取組を関連部署で連携し進める。

## 区立保育園の老朽化への対応

**質問** 老朽化が進む区立保育園はトイレ詰まりやエアコンの不具合が頻繁に起こるなど、劣悪な保育環境だ。園児の健全な発達のため保育園の営繕体制を強化せよ。  
**答弁** 6年度から組織体制を見直し、修繕対応の迅速化などを図る。

## 高齢者の住宅確保支援

**質問** 高齢者は賃貸住宅探しの際、亡くなった後の大家の負担などが原因で入居を断られる事例が多い。公営住宅を新たに整備するなど、高齢者の住まい確保に注力せよ。  
**答弁** 区営住宅の改築などの機を捉え住戸数の確保に努める。



ひうち ゆき (世田谷)

## 交通不便地域への対策の強化

**質問** 交通不便地域対策として砧と大蔵地区で取り組むデマンド型交通の実証運行は区民から好評だ。相次ぐ区内バス路線の廃止や再編

に鑑み他地域での運行も検討せよ。  
**答弁** 課題や有効性を分析、検証し他地域への展開を検討する。**道路の無電柱化の推進**

## 能登半島地震では電柱の倒壊による道路寸断の影響で、人命救助や物資の搬入などに著しい支障が生じた。これを教訓に区道の無電柱化を早急に推進せよ。

**質問** 能登半島地震では電柱の倒壊による道路寸断の影響で、人命救助や物資の搬入などに著しい支障が生じた。これを教訓に区道の無電柱化を早急に推進せよ。  
**答弁** 救助活動など防災機能の強化に向け、無電柱化を加速する。



中塚 さちよ (立憲)

## 災害時の二次避難先の確保

**質問** 能登半島地震では避難所で感染症が蔓延して死亡者が出たケースがあった。災害関連死を防ぐため他自治体と協定を結び、ホテルなどの二次避難先を確保せよ。  
**答弁** 能登半島地震の例を踏まえ多角的に検討を進めていく。

## 介護事業者への事業承継支援

**質問** 訪問介護事業者の廃業には人材不足や後継者不在などの理由がある。休廃業時の事業承継を支援し、継続したサービスの確保と従業員の待遇向上にもつなげよ。  
**答弁** 事業承継に係る情報を含め、事業者への丁寧な周知に努める。

## 中小事業者の視点に立った支援

**質問** 小規模事業者など商取引上弱い立場にある事業者への支援が不十分だ。声を上げにくい受注者への支援策を地域経済発展ビジョンに明記し具体的に取組め。  
**答弁** 安心して活動できる環境の整備をビジョンに据えて取り組む。



佐藤 美樹 (都)

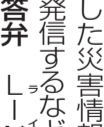
## 未使用区有地の一層の活用促進

**質問** 未使用区有地を有償で貸し、税外収入につなげた取組を評価する。営利活動のほか公益的活動やイベントに減免料金を利用できることを地域活動団体等へ周知せよ。  
**答弁** 公有財産の利活用に関する情報を分かりやすく発信していく。

**質問** 区は保育園などの空き定員を活用して理由を問わない一時預かり事業を拡充する。入園希望が多い1、2歳児の待機児童対策も考慮した上で事業を実施せよ。  
**答弁** 保育資源を有効活用し待機児童対策と在宅子育て支援を進める。

## 災害時の効果的な情報発信

**質問** 災害時に必要な情報を確実に区民に届けるにはプッシュ通知が可能なLINEが有効だ。集約した災害情報を区公式LINEで発信するなど効果的な運用を図れ。  
**答弁** LINEの有効性は認識しており先行事例を踏まえ検討する。



神尾 りさ (国際)

## 情報リテラシー教育の推進

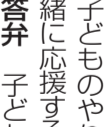
**質問** 生成AI技術の進展により偽の情報・画像等が容易に作成される現状に鑑み、情報の真偽を判断できる力を培う必要がある。学校現場ではどう養うのか。  
**答弁** 情報活用能力の育成や情報リテラシー教育を更に推進する。

## 区内公共交通の充実に向けた方策

**質問** 誰もが住みやすいまちの実現に向け、公共交通の充実を図るべきだ。近年開発が進む超小型電気自動車などの新たな移動手段の活用について積極的に検討せよ。  
**答弁** 他自治体の実証実験なども注視し交通環境の整備に努める。

## 子どもが主役の地域づくりの推進

**質問** 子どもにとって自分の意見が実現することは、やる気や自己肯定感を高める契機となる。区は子どものやりたいことを大人と一緒に応援する地域づくりを進めよ。  
**答弁** 子どもは地域を共に創るパートナーとの意識を共有する。



岸田 りさ (都)

## 共助によるまちづくりの推進

**質問** 共助の精神に基づいてまちづくりを進めるべきだ。まちづくりセンター、あすこ、社会福祉協議会、児童館による福祉の4者連携にボランティア協会も加えよ。  
**答弁** 地区内の横のつながりを深め共助によるまちづくりを進める。

# 問 質 一 般



佐藤 正幸  
(自 民)

## 支援物資の供給体制の強化

**質問** 災害時の支援物資の供給体制を強化すべきだ。区内への輸送拠点である羽田クローンゲートが被害を受け、物資を円滑に輸送できない事態を想定した対策を講じよ。

**答弁** 6年度に物資輸送計画を策定し、供給体制の整備を進める。災害時に備えた物流網の確保

**質問** 災害時に道路の障害物除去などを担う重機のオペレーター不足が深刻だ。操作技術の習得を支援する団体との連携を図り、区内に重機を扱える人材を増やせ。

**答弁** 協定団体なども意見交換を重ね関係所管で検討していく。災害時の人工透析患者へのケア

**質問** 人工透析に必要となる多量の水を災害時に確保することが課題だ。断水を想定した訓練を水道局と行うなど、透析が確実に継続されるよう連携体制を構築せよ。

**答弁** 都水道局などの情報連絡を円滑に行えるよう連携に努める。



佐藤 公明  
(公 明)

## 気象防災アドバイザーの活用

**質問** 激甚化する自然災害から区民の命を守るには地域ごとの危険性を的確に予測することが重要だ。気象防災の専門家である気象防災アドバイザーを区で採用せよ。

**答弁** 国のアドバイザー活用に係る検証結果などを踏まえ検討する。建設業を支援する専門部署の創設

**質問** 人々の安全安心な生活を支える建設業が労働力不足や資材価格の高騰などに苦慮しており、対策が急務だ。支援体制の強化に向け、建設業課を早急に創設せよ。

**答弁** 建設業課の創設など、専門的な組織の在り方を検討していく。新たなリサイクル事業の推進

**質問** 持続可能な社会を築くため、衣類の資源循環を一層促進すべきだ。不要になった学生服を新たな

制服へと再生する循環型学生服の取組を官民連携で実施せよ。

**答弁** 事業者へのヒアリングなどを行い、連携の可能性を検討する。



坂口 賢一  
(自 民)

## 介護人材の確保に向けた対策

**質問** 区は介護需要の拡大を受け高齢者施設の整備を進めているが、事業を担う介護人材は大幅に不足している。人材の確保から育成、定着まで見据えた対策を講じよ。

**答弁** 研修などを通じて、現場を支える職員や事業者の支援を行う。不登校特別校教室の開設の経緯

**質問** 区内の不登校児童生徒数は約100名にも上り、今なお増加傾向にある。区は22年に不登校特別校分教室を開設したが、どのような目的意識のもと開設に至ったのか。

**答弁** 居場所が必要な子ども個別最適な教育機会の確保が目的だ。学校改築時の活動場所の確保

**質問** 学校改築時に仮設校舎を校庭に設置する際は、子どもたちが遊びや運動を十分にできる場所の確保が不可欠だ。近隣の校庭を共同で利用するなど対策を講じよ。

**答弁** 学校敷地外で運動ができる場所の確保などの検討を進める。



オルズグル  
(立 憲 れ)

## 外国籍区民への正確な情報発信

**質問** 区ホームページの外国語翻訳ページには2019年に発生した台風19号の緊急情報が本年2月まで掲載され続けていた。看過できないミスであり再発防止に万全を期せよ。

**答弁** 事態を真摯に受け止め、緊張感を持って情報発信に取り組む。医療機関の選択に係る情報の充実

**質問** 都がインターネットで公開する医療機関案内サービスは外国語で会話可能か検索できず、外国籍区民は利用しづらい。区独自に医療機関の詳細な情報を発信せよ。

**答弁** 国が構築中のシステムで検索機能の利便性が高まる予定だ。

## 文化芸術活動への支援の強化

**質問** 区内の文化芸術活動を一層盛んにするため、アーティストへの支援を強化すべきだ。過去に実施した補助事業の成果を十分検証し、より効果的な支援策を講じよ。

**答弁** イベントへの派遣や活動場所の提供などの支援策を検討する。



そのべ せいや  
(都 S)

## 安心安全な保育環境の確保

**質問** 区は認可外保育施設で起きた乳児の死亡事故を受け、区内の認可外保育施設に抜き打ち検査を実施した。保育の安全性確保に向け検査の対象拡大と恒常化を図れ。

**答弁** 認可外保育施設を中心に継続的に実施する庁内体制を整える。区立保育園の定期利用保育の拡充

**質問** 2024年4月の入園選考では一部地域で2歳児の預かり枠が不足し待機児童が出る見込みだ。一人でも多く受け入れるため定期利用保育を実施する区立園を拡充せよ。

**答弁** できるだけ多くの区立園で実施できるように検討している。中学受験に潜む教育虐待への対策

**質問** 過熱する中学受験の裏で親に過度な勉強を強いられ追い詰められる子どもも存在する。こうした悩みを安心して相談できる環境を築き、子どもに周知徹底せよ。

**答弁** せたホッと\*などと連携して悩みを相談しやすいよう周知する。



原田 竜馬  
(立 憲 れ)

## 住宅の耐震化への支援拡充

**質問** 能登半島地震では多くの命が家屋倒壊により失われた。住宅の安全性確保に向け、耐震シェルターや耐震ベッドの助成対象を拡大するとともに助成額を増やせよ。

**答弁** 支援の実績を分析しニーズに応じた制度となるよう検討する。戦略的広報の強化

**質問** 区政情報を区民への確に届けるには単に情報を発信しているも効果が薄い。戦略的な広報を展

開するため専門的知見を持つ担当官の設置や組織の再編に取り組み。

**答弁** まずは広報に関わる職員のスキルアップに向けて取り組む。困難を抱える若者への支援

**質問** 区は児童養護施設退所者などへの支援として行う給付型奨学金の対象に生活保護世帯を加える。誰もが望めば進学できる社会を築くため更なる対象拡大に力を注げ。

**答弁** 高校生世代の経済的負担の軽減などについて検討を進める。



中里 光夫  
(共 産)

## 高齢者施設のコロナ対策継続

**質問** 区は高齢者施設などでの随時検査を休止しており、今後は抗原検査キットの配布も終了する。今なお感染防止に努めている現場の負担に鑑み今後の方針を見直せ。

**答弁** 新たな感染症発生の際は再び迅速な対応が取れるよう努める。公園の環境を守る仕組みづくりを

**質問** 区内公園に接する大規模マンション建築計画に対し、周辺住民から公園利用への支障を懸念する声を聞く。公園環境を守るため新たなルールや仕組みをつくれ。

**答弁** 周辺環境などを踏まえた良好な建築計画となるよう誘導する。住民意見を反映した図書館運営を

**質問** 図書館運営での民間活用の問題点が指摘される中で、梅丘図書館への指定管理者制度導入は拙速だ。住民意見を基に策定された改築基本構想を運営の軸に据えよ。

**答弁** 地域住民の想いが詰まった改築基本構想をしっかりと反映する。



くんだ あい  
(自 民)

## 認可保育園での空き定員の活用

**質問** 保育園の入園希望が多い、2歳児枠が不足している。空きが多い私立認可園に対し、3〜5歳児枠を縮小し、2歳児枠の拡大を促すよう区が運営費を補助せよ。

**答弁** 空き定員があり基準を満たす施設に対し前向きな検討を促す。

## 効果的な待機児童対策の推進

**質問** 区はゼロ歳児枠を入園が厳しい1、2歳児に振り替えると言いが、ゼロ歳児枠は途中入園のニーズが高く不安が残る。振替は空きが多い3歳児以上の枠とせよ。

**答弁** まずは待機児の厳しい4月入園への対策をしっかりと進める。区内の保育資源の周知徹底

**質問** 就学前のこどもの預け先は保育園だけではない。私立幼稚園の預かり保育を含め、区内の保育を行う施設の空き状況を網羅的に整理し、保護者に随時周知せよ。

**答弁** 幼稚園の預かり保育の状況なども含め様々な方法で周知する。女性視点での防災対策の推進



おの みさき  
(生 産)

**質問** 多様性に配慮した防災対策を担う女性防災コーディネーターの養成計画を倍増せよ。地域防災活動への参加が進むよう、町会自治会へ人材の活用を呼びかけよ。

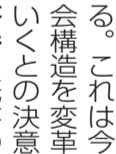
**答弁** 避難所運営委員会などに参加できるように努める。緊急避妊薬の無償提供

**質問** 性暴力被害者の望まぬ妊娠を防ぐには緊急避妊薬の早期服用が極めて重要だが、アクセスには依然課題が多い。緊急性に鑑み、被害者への無償提供を検討せよ。

**答弁** 緊急避妊薬の無償提供を含め、被害者支援の充実に努める。ジェンダー主流化への区の決意

**質問** 次期基本計画案にジェンダー主流化を明記したことは評価する。これは今後区として既存の社会構造を変革する施策を展開していくとの決意と捉えてよいか。

**答弁** 既存の社会構造による不平等が持続しないよう改革を進める。インクルーシブ教育の推進



桜井 純子  
(立 憲 れ)

**質問** 全ての子どもが当たり前に地域の学校に通える環境を築くべきだ。障害のある子どもが就学先

を把握しインクルーシブ教育の推進状況を測る指標として活用せよ。

**答弁** 就学先を分析し、推進状況の評価などができるよう精査する。子どもの遊びの権利保障

**質問** 子どもが伸び伸びと外遊びができる環境を充実すべきだ。北烏山7丁目の公園整備に際しては、子ども意見を取り入れるとともにプレーパークの導入を検討せよ。

**答弁** プレーパーク事業など地域課題やニーズを踏まえて進める。包括管理業務委託の慎重な判断

**質問** 区は施設の維持管理の委託手法を見直す方針だが事業者への影響は未知数だ。区内経済の循環や安定した雇用の確保など中長期的な課題を見据え慎重に検討せよ。

**答弁** 様々な観点から経営資源を有効活用できる方策を検討する。



上川 あや  
(虹)

**質問** 区は事業者のLGBTQ対応を改善するため、誰もが働きやすい職場環境づくりにつなげる指針を策定するとしていたが、一向に完成しない。内容や策定期期を示せ。

**答弁** 職場環境整備の必要性などを盛り込み6年度中に策定予定だ。指定管理施設における区の責任

**質問** 指定管理者へ多様性に係る条例の遵守を徹底させるべきだ。ガイドラインに同性パートナーを含めた従業員の諸権利の平等などを明記しモニタリングを強化せよ。

**答弁** 5年度中に明記し、モニタリングの在り方も検討していく。健診制度のさらなる充実

**質問** トランスジェンダーの半数が医療機関で不快な経験があり約25%は健診を受けていない現状がある。保健センターと共に誰もが安心して受診できる環境を整えよ。

**答弁** 誰もが安心して受診できる環境づくりを保健センターと行う。



# 問 質 一 般



つみ けんじ  
(風)



## 本庁舎整備の工期延伸への対応

**質問** 本庁舎整備の工期延伸に係る基本的な考えを区民や議会に示すのは区の責務だ。違約金などの取扱いに大規模建設との和解にどう至ったのか分かりますか。

**回答** 技術提案取扱い規定を根拠に区から提案し合意書案に至った。

## 災害発生初期の情報収集体制

**質問** 災害時に区民の命を守るには発災直後の初動が重要だ。まちづくりセンターが被災状況を把握するに当たり、各施設や団体などとの連携をどう進めようか。

**回答** 地区内の被災状況を徒歩で確認し、各施設への声かけを行う。

## 認知症による行方不明者の現状

**質問** 認知症の方の行方不明事案が全国で増加している。行方不明中に事件や事故に巻き込まれるなど、命に関わる重大なケースは区内でどの程度発生しているのか。

**回答** 年間60件程度で大半が保護に至ったが亡くなった方もいる。



河野 俊弘  
(自 民)



## 避難所の使用可能範囲の明確化

**質問** 避難所となる学校施設について教育委員会と区長部局との情報共有を進め、実際に使用可能なスペースを定めるなど全校で避難所機能の運用ルールを明確にせよ。

**回答** 使用可能な範囲の明確化を図れるよう教育委員会と協議する。

## 受動喫煙防止に向けた対策の強化

**質問** 三軒茶屋駅前喫煙所は受動喫煙対策が不十分であり、歩行者などへの健康被害が懸念される。環境に配慮した喫煙所の新設や既存の問仕切りの改善に取り組み。

**回答** 周辺環境に一層配慮し、現行設備の改善策を早急に検討する。

## 他者への理解を深める教育の推進

**質問** 池之上小で青年会議所が行った授業は児童がVR技術で発達障害の症状を疑似体験し、他者への思いやりを学ぶ、すばらしい内容だった。区の教育に取り入れよ。

## 認可外保育施設への検査改善

**質問** 区内認可外保育施設での乳児死亡事故を受け、対策の強化が急務だ。こども家庭庁の仕組みを参考に、区も民間事業者を活用した実態把握や立入調査を実施せよ。

**回答** 国の事例を参考に外部の専門人材の活用も検討していく。

## 区職員のメンタルヘルス対策

**質問** メンタル不調による区職員の休職者数は増加しており、区長の組織統治能力を憂慮する。メンタル不調の予防や働きやすい環境づくりに向けた今後の対策を明示せよ。

**回答** 新規採用者のメンタル対策の強化などに取り組む予定だ。

## 近隣自治体との図書館の相互利用

**質問** 区の図書館は区外の誰もが利用できる一方、近隣の調布市は住所による制限があり一部の世田谷区民しか利用できない。調布市に幅広い相互利用を働きかけよ。

**回答** 世田谷区民利用者の拡大に向けて調布市への働きかけを行う。

## 養育費確保に向けた支援の強化

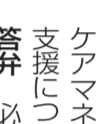
**質問** ひとり親家庭の養育費確保に向けた支援を強化すべきだ。未払い分の養育費を回収するための弁護士費用を助成するなど、ニーズを把握し必要な施策を講じよ。

**回答** ニーズ把握に努め国の弁護士費用助成の活用も含め検討する。

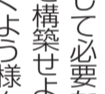
## 災害時に利用できるトイレの周知

**質問** 断水で自宅のトイレが使えない事態に備え、災害時のマンホールトイレの設置場所を周知すべきだ。防災マップに区施設だけでなく都立公園の情報も掲載せよ。

**回答** 今後は都立公園などのマンホールトイレの情報を掲載する。



谷口 健二  
(参 政 党)



## ヤングケアラーへの支援強化

**質問** ヤングケアラーの早期発見には家庭と日常的に接するケアマネジャーからの情報提供が有効だ。ケアマネジャーと連携して必要な支援につなげる仕組みを構築せよ。

**回答** 必要な支援が届くよう様々な機会を捉え連携強化に取り組む。

## 人類初mRNAワクチンの危険性

**質問** mRNAワクチンの救済認定者は一万人を超える。当区も大幅に死亡者増だが本当に安全なのか。区は国を盲信せず世界の情報を多角的に調査判断し区民の命を守れ。

**回答** 国が評価すべきものであり、区独自の検討は妥当性に欠ける。

## コロナワクチン救済制度の実態

**質問** 救済制度の受理件数は一万人、死亡者は千名を超えた。しかし99%が因果関係が不明なことで、接種を継続している。不明ではなく評価を完了するよう国に求めよ。

**回答** 国の審査が適切に進むよう、必要な情報の確認を行っている。

## 太陽光発電を導入する上での課題

**質問** 区は成城地区で太陽光発電の普及を進めるが、パネル破損時の土壌水質汚染、ウイグル強制労働による人権問題への加担、廃棄の課題等があり導入は慎重を期せよ。

**回答** 設置する区民に対し廃棄方法などの適切な情報提供に努める。

## 債権の収入未済額の縮減

**質問** 区民税などの収入未済額が約96億円と看過できない状況だ。6年度からの新たな債権管理重点プランの下、具体的にどのような点に力を入れ縮減を図るのか。

**回答** DX推進方針に基づくデジタル技術の活用などで縮減を図る。

## 債権回収の強化

**質問** 税込減で公共サービスの質が低下しないよう債権回収を一層強化すべきだ。収納率の目標値を

高く掲げ、目標達成に向けて多種多様な手法を講じ柔軟に展開せよ。

**回答** 滞納状況を深く分析し、効果的かつ効率的な徴収に取り組む。

## 広告による税外収入の確保

**質問** 神奈川県は企業からの広告料を環境教育に充てることで環境保護に貢献する企業としての宣伝効果を生み出し、税外収入を効率的に確保している。区も導入せよ。

**回答** 他自治体の好事例なども参考に税外収入の取組を推進する。

## 本物の舞台芸術に触れる機会創出

**質問** 本物の舞台芸術に触れることで人の心はより豊かになる。新しくなる世田谷区民会館では子どもが経済的事情などによらず楽しめるよう無料鑑賞の機会を設けよ。

**回答** 全ての子どもが良質な芸術に触れ、楽しめる事業を検討する。

## 桜地域の交通不便の早期解消

**質問** 桜地域の交通不便対策として、経堂駅周辺で上野野地を結びぶオンデマンド型交通を導入すべきだ。地元協議会を立ち上げるなど、合意形成に向け取組を進めよ。

**回答** できる限り早く地元協議会の立ち上げなどについて検討する。

## 「おこやみコーナー」の早期開設

**質問** 死亡時の手続を一括で行う「おこやみコーナー」の開設に向け、区は検証期間に4年もかけると言っている。3月末の新庁舎1期棟竣工を契機として早期開設を目指せよ。

**回答** まずは6年度中にモデル実施を行う準備を進めていく。

## 隣接自治体の防災情報の提供

**質問** 区境に住む区民が災害時に適切な避難行動を取れるよう区は隣接自治体の防災情報も提供すべきだ。ハザードマップに避難所を掲載するなど情報発信を強化せよ。

**回答** 行政境に捉われず隣接自治体の避難所などの表示を検討する。

## 抜本的な少子化対策の推進

**質問** 区の合計特殊出生率は国や都と比べて低く、少子化対策は喫緊の課題だ。若者が将来に希望を持ち安心して子どもを産み育てられるよう、抜本的な対策を講じよ。

**回答** 将来に希望が持てる環境を整え、少子化傾向の反転を目指す。

## 等々力渓谷遊歩道の早期開放

**質問** 等々力渓谷では倒木の危険性がある樹木が確認されたため、2023年7月から遊歩道が閉鎖されている。開放を待ち望む声に応え、伐採作業の早期完了に力を尽くせよ。

**回答** 重機の搬入に向けた工法などの検討を進め早期開放を目指す。

## 災害時の薬の供給体制の整備

**質問** 災害時には病院も被災し、薬が手に入らない事態が想定される。区民の命を守るため、移動薬局車「モバイルファーマシー」の活用も含め薬の供給体制を整えよ。

**回答** 都や事業者と連携し、医薬品の確保に向けた検討を進める。

## 動物愛護施策の一層の充実

**質問** 私が提案した動物愛護施策へのふるさと納税により、多くの寄附が集まっていると聞く。これを原資に飼い主のいない猫の不妊去勢手術への補助を一層充実せよ。

**回答** 既存事業の充実を含め動物との共生社会推進に向け活用する。

## 教育費の無償化の推進

**質問** 子育て世帯の負担軽減に向けて教育費の無償化を推進すべきだ。都が6年度より学校給食費の補助を実施するの機に、浮いた予算で学用品費を無償化せよ。

**回答** 社会で子育てを支援する視点や財政負担を踏まえ検討する。

## 災害時における障害者支援の強化

**質問** 障害者には配慮が行き届かない指定避難所での生活は負担が大きい。福祉の専門人材がおり設

備も整った福祉避難所を迅速に立ち上げ直接避難できる体制を築け。

**回答** 課題整理を進めており、今後避難方法などの検討を進める。

## 訪問介護事業所への事業継続支援

**質問** 歳を重ねても住み慣れた地域で生活を望む人は多い。自宅を訪問して生活を支える介護事業者の基本報酬が下がったことによる影響を最小限にするため支援せよ。

**回答** 加算取得促進支援事業などの有益な情報の発信に努める。

## 子どもへの切れ目のない支援

**質問** 区は妊娠前から就学前までの家庭への支援強化に向けサポートプランを導入する。プランを活用して就学前から学校とも連携して切れ目のない支援体制を築け。

**回答** 学校との連携などを通じ、今まで以上の支援体制を築く。

## ペット同伴避難への対応

**質問** 災害時に避難所の同室でペットと過ごせる同伴避難の体制を整えるべきだ。アレルギー対策の観点から同伴避難用の教室を確保するなど、具体の検討を進めよ。

**回答** まずは同行避難の拡充を進め、同伴避難は今後研究していく。

## 特異な才能を伸ばす教育の推進

**質問** 区長は子どもの特異な才能を伸ばす教育を行う方針を発表したが、一向に進展がない。やる気がないのであれば、区民への誤解を解くため区長の口から訂正せよ。

**回答** 訂正した内容については既に区ホームページに掲載した。

## 文化芸術と観光の積極的な振興

**質問** 文化芸術のPRは地域の魅力発信や地域文化の発展に大きく寄与する。区もシティプロモーション課を新設し、文化芸術支援と観光振興を一体的に進めよ。

**回答** 地域資源のPRや、更なる観光促進の取組を検討する。



若林 りさ  
(維 無 行)



# 会派等の意見

6年度予算を審査するため、49名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、3月6日から3月21日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。  
ここでは、予算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された6年度予算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

## 本会議での意見表明者

自由民主党世田谷区議団…加藤たいき  
公明党世田谷区議団…河村みどり  
立憲党 ねむ新進世田谷議員 オルズグル  
早稲新の会 無所属 世田谷区議員 大庭 正明  
日本共産党世田谷区議団…たかじょう訓子  
野野アースの会 無所属 佐藤 美樹  
生活者ネット 世田谷議員 関口 江利子  
シンポー世田谷…上川 あや  
世田谷無所属…ひうち優子  
国際都市せたがや…神尾りさ  
せたがやの風…つるみけんご  
国民民主党世田谷…石原せいじ  
参政党…岡川 大記  
無所属…青空こうじ

## 希望にあふれる世田谷を築くため 戦略的な行政経営を展開せよ

### 自由民主党世田谷区議団

(全ての会計に賛成する意見)



2023年の日本のGDPはドイツを下回り世界第4位へ転落した。さらに2023年には少子化による人口減などの影響でインドにも抜かれるという。2023年の国内の出生数は75万800人と過去最少であり、婚姻数も約49万組と2022年に比べ3万組以上も減少している。全国調査の結果では、結婚や理想の数の子どもを持つ大きな障壁として経済的な負担が一番に挙げられている。少子化は保育園の整備など従来の対策だけでは到底打開できず、我が会派は若者の可処分所得を上げるため、政府に対し子ども政策での所得制限撤廃などを提言してきた。区に対しては給付型奨学金の創設や若年夫婦への住宅支援の拡充などを求めた。6年度から実施する生活保護世帯への給付型奨学金においては、所得制限ではなく成績要件を設けるなど、努力次第で誰もが恩恵を受けられる制度を構築せよ。また、ファミリー世帯が家賃の安い郊外に転出している傾向に鑑み空き家などを活用した

居住支援策を積極的に検討せよ。我が会派は若い世代が希望を抱き、家庭や子どもを持てる社会を築くため今後も政府や区へ積極的に提言していく決意である。

以下、各政策へ意見を述べる。  
まず、災害対策についてである。

能登半島地震のあった石川県では住宅の14%に当たる7万5千棟に被害があり、今なお8千人の方が避難所生活を余儀なくされている。区は災害時に95か所の避難所を開設するが全区民の受け入れは不可能であり、在宅避難の推進が肝要だ。6年度に実施する防災力タログギフト配付事業は啓発方法を工夫し区民の自発的な備蓄行動につなげるとともに耐震化の案内も併せて行うなど、単発の事業にとどまらない効果を生み出せ。また医療救護体制の整備も課題だ。

区内の災害拠点病院及び災害拠点連携病院には地域偏在があり、各地の傷病者に対応できないことが懸念される。さらに災害時ボランティアドクター制度に係る協定は20年以上前に締結されたものであり現状に即しているか疑問だ。改めて医師会などと連携し実効性を確保せよ。加えて首都直下地震に備え、不燃化の取組や緊急車両の通行などに不可欠な道路の整備を進めるべきだ。補助54号線は1期工事を着実に完了させ、2期3期区間も優先整備路線に位置づけて早急に事業化せよ。一向に開通しない恵泉通りについては区長が覚悟を決めて具体的な行動を起こせ。次に公共施設整備についてである。年平均70億円という莫大な施設更新経費を捻出するため明確な目標値を持ち行政改革を進めよ。また、包括管理業務委託の導入に際しては、災害時の対応なども考慮し、地域の実情に詳しい区内事業者の参画を狭めないよう慎重に検討せよ。地域のスポーツ施設不足対策として校庭の人工芝化や夜間照明の設置などに取り組み、学校施設がコミュニティの核となる

よう地域への開放を進めよ。学校改築は敷地の高度利用や地下空間の活用も視野に着実に取り組め。次に教育政策についてである。

学びの多様な学校については、関係者の声を丁寧に取り組みを進めるとともに、不登校対策の根本的解決に資する取組の検討や学習塾との連携などによる教員の負担軽減策の強化に一層力を注げ。

次に本庁舎整備の遅延についてである。区民の利益を守るため、大成建設社長に対し、目に見えない損害も含めた賠償について誠意を持って応じるよう、区長自ら交渉せよ。また本件のような大型契約の変更に係る区長の専決処分については引き続き議論していく。

最後に、DX推進については担当副区長を置くなど体制を強化したものの、成果が芳しくない。区民の負担となつている窓口混雑を解消するため、行かずに、書かずに手続できるデジタル窓口を導入し、「待たない」窓口を実現せよ。

## 災害から得た教訓を生かし 区民を守る施策を着実に進めよ

### 公明党世田谷区議団

(全ての会計に賛成する意見)



元日に発生した能登半島地震により、いまだに多くの方が避難所生活を余儀なくされている。我が党は地方議員と国会議員が緊密に連携し、現地の声を具体的な支援策へとつなげ、1日も早い復興に向けて全力で取り組む所存である。

以下、我が党が6年度予算に賛成するに当たり、最重要課題と考える6点について意見を述べる。

第1に災害対策についてである。支援の手が届きづらい在宅避難者を把握できるシステムを構築するとともに、平時より公共施設に水を再生利用できる水循環器やコンテナ型宿泊施設を配備せよ。また、民間との災害時協力協定の総点検や福祉避難所へ要配慮者が直接避

難できる仕組みづくりに取り組め。第2に税金の使い方についてである。防災用品の備蓄を促すためのカタログギフト配付事業にかかるとともに、不登校対策の根本的解決に資する取組の検討や学習塾との連携などによる教員の負担軽減策の強化に一層力を注げ。

次に本庁舎整備の遅延についてである。区民の利益を守るため、大成建設社長に対し、目に見えない損害も含めた賠償について誠意を持って応じるよう、区長自ら交渉せよ。また本件のような大型契約の変更に係る区長の専決処分については引き続き議論していく。

最後に、DX推進については担当副区長を置くなど体制を強化したものの、成果が芳しくない。区民の負担となつている窓口混雑を解消するため、行かずに、書かずに手続できるデジタル窓口を導入し、「待たない」窓口を実現せよ。

元日に発生した能登半島地震により、いまだに多くの方が避難所生活を余儀なくされている。我が党は地方議員と国会議員が緊密に連携し、現地の声を具体的な支援策へとつなげ、1日も早い復興に向けて全力で取り組む所存である。

以下、我が党が6年度予算に賛成するに当たり、最重要課題と考える6点について意見を述べる。  
第1に災害対策についてである。支援の手が届きづらい在宅避難者を把握できるシステムを構築するとともに、平時より公共施設に水を再生利用できる水循環器やコンテナ型宿泊施設を配備せよ。また、民間との災害時協力協定の総点検や福祉避難所へ要配慮者が直接避

域力の重要性を再認識する年となった。我が会派は区民生活を持続可能なものとするため区民一人ひとりに寄り添った政策を求め、区が委託契約している事業者が2月に突然撤退する問題が起きた。区民サービスに支障を来す事態を避けるため、社会経済状況を踏まえ事前に事業者の経営実態などを十分に把握せよ。また、労働報酬下限額の引上げが各事業者に与える影響について丁寧に調査せよ。

地域防災力の向上のためマンション住民と地域団体の関係構築を支援せよ。区内の全ての避難行動要支援者の個別避難計画を策定するとともに避難所での子ども居場所や遊び権利の確保に注力せよ。

男女共同参画社会の実現に向け、女性が働き続けられる環境整備や女性管理職比率の向上に努めるとともに、男性のセルフケア向上を支援しエンター平等を推進せよ。区内認可外保育施設での乳児死亡事故を受け、保育の質向上や孤立家庭を支援する体制の再構築など、福祉の公的責任を果たすための仕組みづくりに力を注げ。保育の質カイドラインの見直しや私立幼稚園における特別支援教育への支援を充実せよ。児童相談所における子どもの事情に応じた一時保護の在り方検討や子ども支援に係る民間団体との連携を推進せよ。

学びの多様な学校分教室「ねいろ」の実践を生かした学校改革を進め不登校支援を強化せよ。インクルーシブ教育の一層の推進に向け外国にルーツを持つ子どもと保護者への支援や宗教に配慮した給食の提供に努めよ。子どものプライバシー権の保障や学用品費を含む教育費無償化の拡充に取り組め。

気候危機対策に重要なみどりの確保に向け、生産者と区民が協働する活動への支援や国分寺産線保全のための取組を一層拡充せよ。空き家問題の解消に向け、管理不全空き家を早期に把握する取組を進めよ。人間中心のまちづくり

を実現するため、DXを一層推進し多様な世代の意見を酌み取れ。最後に、各計画の実施や検討に当たっては、多様な区民の参画を保障する視点を大切にせよ。

## 保坂区長は13年間の失政を認め 実効性のある災害対策を進めよ

### 日本維新の会 無所属 世田谷区議員 早稲

(一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見)



能登半島地震では、家屋倒壊や道路陥没などの甚大な被害がもたらされた。この教訓から、来る首都直下地震への備えが急務であることが再認識された。今般の6年度予算案は「身近な地区の防災力を高める予算」というが、保坂区長が就任して以来、防災対策が遅々として進まなかった13年間を振り返り、意見を申し述べる。

かねてより、我が会派は一刻も早い防災基盤の整備を求めてきた。その最たるものが新庁舎整備である。2003年頃には整備計画の骨格が完成していたにもかかわらず、区長の就任後に計画は中断された。その後、2016年に発生した熊本地震を機に庁舎整備の必要性を自覚したものの、「中庭から見える空間特性」という区長のこだわりが設計内容を複雑化させ、今般の大幅な工期延伸を招く事態となった。区長は予算特別委員会の場で大規模な工事能力を見抜けなかったと答弁したが、その理由はそもそも区長自身が整備に後ろ向きで関心すらなかったせいではないのか。

さらに、災害対策で重要な道路整備への区長の姿勢に対し苦言を呈する。恵泉通りは整備開始から57年が経過する今も未開通の状態だが、区長は開通に向けた行政代執行を一向に決断しない。これは区長の無責任な政治姿勢の象徴的事例であり、我々は今後の世田谷区政を大変危惧するものである。



予算特別委員会の模様をホームページで録画配信しています。  
世田谷区議会 議会中継 で検索!

# 令和6年度予算に対する

参加と協働による区政運営を進め  
区民福祉の一層の向上に尽力せよ

— 日本共産党世田谷区議団 —

（国保会計と後期高齢者会計には反対、一般会計と介護会計と給食会計には賛成する意見）



保坂区政4期目に入り初めてとなる6年度予算では、災害対策をはじめ、生活困窮者対策や子ども若者への支援の強化が反映されたことを評価する。健全な財政運営の下、区民福祉の更なる向上に取り組むことを求め意見を述べる。

災害対策では住宅の耐震化を進めるとともに高齢者などの声を踏まえた在宅避難者支援プランを早期に策定せよ。平和への取組を推進するため平和都市宣言を刻んだ記念碑を新庁舎に設置せよ。生活困窮者の自立支援をワンストップで行える仕組みを構築せよ。教育費の無償化を進めるため就学援助の支給対象者を拡大せよ。包括的な教育を推進せよ。介護職員の処遇改善に努めよ。6年度から高齢者や中等度難聴者向けに始める補聴器購入費助成は二丁の高さを踏まえ制度を見直せ。CO2排出量削減に向け住宅の断熱化推進など全庁を挙げて区民の行動変容を促せ。新庁舎が区民に親しまれるものとなるよう取組め。官製ワーキングプアを生む安易な民間委託はやめよ。道路整備は区民の参加と協働の下に進めよ。

子ども真ん中社会の実現を目指せ

— 都民ファーストの会・Seitaga area —

（全ての会計に賛成する意見）



子育ての負担となっている旧態依然の制度の見直しに向け、学校や保育園での集金のキャッシュレス化やAI活用による保育園の入園選考の期間短縮に取り組むなど、従来の手法に捉われない仕組みを導入せよ。保育需要の実態と供給量のバランスを的確に把握しデータに基づく待機児童対策を講じよ。

小1の壁の解消に向け、学校と学童保育の連携強化や認可保育園での学童保育の事業展開などを着実に進めよ。急速に変化する社会状況を踏まえ、将来の世田谷の課題を見据えて行政改革を加速せよ。

— 生活者ネットワーク世田谷区議団 —

（全ての会計に賛成する意見）



パレスチナ問題で現地の子どもが飢餓に苦しむ状況を傍観せず支援するよう政府に強く働きかけよ。災害対策では女性防災コーディネーターの養成や障害者の安全確認の仕組みを構築するなど万全の体制を整えよ。子ども条例に子どもの意見表明などの権利を盛り込み、意見を区政に反映する制度をつくれ。介護保険制度の改正により基本報酬が下がる介護事業所を支援せよ。女性管理職比率を高めるため、専門家の知見を取り入れよ。性暴力被害者に緊急避妊薬を無償提供するなど支援を強化せよ。

区民に寄り添った施策を展開せよ

— レインボー世田谷 —

（全ての会計に賛成する意見）



障害者支援の充実に向け、日常生活用具の給付限度額を引き上げよ。区民の共有財産である美術品などの保管環境を改善せよ。道路に許可なく置かれた看板などの占用料を確実に徴収せよ。生活保護を受給していない低所得世帯の若者を給付型奨学金の対象に加えよ。

安全安心な世田谷のまちを築け

— 世田谷無所属 —

（全ての会計に賛成する意見）



自転車の利用者増を踏まえ、安全教育の拡充やヘルメット着用の周知、道路の逆走防止に資する分かりやすいサインの整備等、安全対策を強化せよ。図書館力ウンターやブックボックスの整備拡充、

災害対策の強化、双子の育児支援等、区民福祉の向上に力を注げ。真に区民主体の区政を展開せよ

— 国際都市せたがや —

（全ての会計に賛成する意見）



6年度予算で重点項目として掲げる政策は、いずれも区民が求める生き方を尊重し、区民との協働なくしては成り立たない。人間関係が希薄な社会で、牟田悳三さんが残された「お互いさま宣言」のように、個々の違いを認め合う社会に向けて、区政を運営せよ。

職員一丸で区の明るい未来を築け

— せたがやの風 —

（全ての会計に賛成する意見）



災害から区民を守るため、区は自助や共助を推進する立場として公助の役割を明確に示せ。地域行政推進条例に基づき、まちづくりセンターが区民生活を包括的に支援せよ。区職員が各々の力を存分に発揮し、区民の命と財産を守り抜く世田谷の構築を目指せ。

笑顔あふれる世田谷を築け

— 国民民主党世田谷 —

（全ての会計に賛成する意見）



より良い行政サービスを提供できるよう、区職員が楽しくやりがいを持って業務に取り組める環境を整備せよ。区職員は区民との意思疎通を図り信頼関係を構築せよ。職員一人ひとりが区政課題に対し問題意識を持ち、本質的な課題解決に向け責任感を持って取り組め。

未来を見据えた施策を展開せよ

— 参政党 —

（全ての会計に賛成する意見）



区立校では日本の将来のため愛国心を育む教育や農業体験を通じて食への関心を醸成する教育を充実せよ。子宮頸がんワクチン接種

のリスクと有効性を独自に検証し区民周知を徹底せよ。庁内横断的な連携を強化し、柔軟かつ機動的に行動できる組織体制を構築せよ。

— 無所属 —

（全ての会計に賛成する意見）



区民サービス向上の担い手となる職員を確保するため、公務の魅力を高める取組を推進しPRせよ。子どもが楽しく学べる授業づくりを進めよ。世田谷いきいき体操など高齢者の健康増進につながる活動を周知せよ。認知症の方を支える家族同士の交流機会を充実せよ。

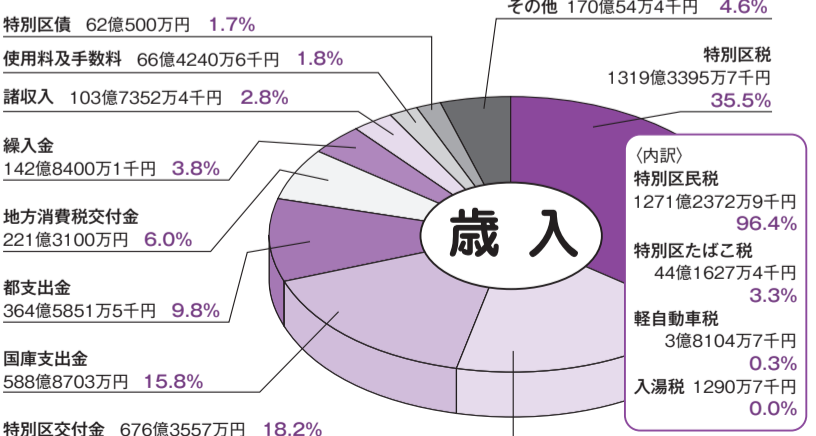


予算特別委員会での採決の様子

## 令和6年度各会計予算

内容	金額	対前年度比増減率
一般会計	3715億5154万7千円	2.6%
特別会計		
国民健康保険事業会計	854億3959万7千円	-0.5%
後期高齢者医療会計	260億3787万1千円	6.1%
介護保険事業会計	730億3755万4千円	0.3%
学校給食費会計	35億3310万4千円	4.6%
計	5595億9967万3千円	2.0%

## 一般会計予算の内訳（% = 構成比）



## 令和6年度 予算のあらまし

